

# 教育指導課便り

～つながり合い、共に学びをはぐくむために～

函館市教育委員会  
学校教育指導課  
平成24年12月5日発行  
VOL. 9

## 第2回函館市いじめ等対策委員会報告

10月9日(火)市役所5階にて、第2回目の会議を次のような内容で開催しました。

- ① 函館市におけるいじめや不登校の状況について
- ② いじめ等の問題について考える集会について
- ③ 啓発用リーフレットについて

①については、全国と函館市のいじめに関するデータの比較や、函館市の子どもたちや学校の様子についての情報をもとに、学校や保護者の対応について様々な意見が出されました。

②については、テーマを決定するとともに、小、中、高生と市民が同じ場所で集会に参加できることの重要性が確認されました。

③については、これまで以上に子どもたちに伝える内容や構成にしていくこと等を中心に、よりよいものにしようとする熱心な話し合いが行われました。

また、後日、委員からのメッセージを教育指導課HPに掲載することが決定されました。

## 函館市学校教育指導資料作成委員会報告

10月23日(火)に第1回、11月20日(火)に第2回目の平成24年度函館市学校教育指導資料作成委員会を行いました。

本年度は、はこだて幼稚園前原園長を委員長、高丘小学校紺野教頭を副委員長として、12名の委員の方々で作成を行っております。

テーマを「子どもを中心につながり合うために～見守る、支える、共に歩む、発信する～」とし、家庭、地域社会、学校が連携した特色ある取組を実践事例集としてまとめ、広く発信することを目的としております。

8月、10月に実施した各園・各学校からの情報収集及びご協力の下、様々な面で子どもたちの成長を見守り、支え、共に歩む取組状況を取りまとめることができたと考えております。

各園、各学校におきましては、貴重な実践事例のご提供をいただき、ありがとうございました。

## コラム：ICTの活用

社会の情報化の急速な発展等に伴い、情報通信技術を最大限活用した21世紀にふさわしい学びが求められております。このため、文部科学省は、平成23年4月28日に「教育の情報化ビジョン」を取りまとめました。

子どもたちの情報活用能力の育成については、学習指導要領においてもその充実が図られているところでありますが、まずはこれを円滑かつ確実に実施することが大切です。

各学校においては、次の事項への配慮が考えられます。

- 各学校段階において期待される情報活用能力を確認する。
- 学習内容をわかりやすく説明したり、子どもの学習への興味・関心を高める。  
(例) ・一斉学習において、ポイントとなる部分を拡大・強調する。  
・動画など子どもの興味・関心を引く教材を使用する。
- 家庭、地域及び関係機関と連携し、情報化の光と影の影響の両面を理解した上で情報モラル教育に取り組む。など

各教科等の目標の実現のための指導方法の一つとして工夫を図っていききたいものです。

## コラム：キャリア教育

平成23年1月、中央教育審議会が取りまとめた「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について(答申)」では、幼児期の教育から高等教育に係る体系的なキャリア教育の一層の充実が求められ、生涯にわたる多様なキャリア形成に共通して必要な能力や態度を育成するとともに、これを通じて勤労観・職業観等の価値観を自ら形成・確立することの重要性が指摘されています。

そのため、各園、学校においては、キャリア教育を通して中核的に育成すべき「基礎的・汎用的能力」を踏まえた教育実践を行うことが大切です。

〔基礎的・汎用的能力〕

- 人間関係形成・社会形成能力
- 自己理解・自己管理能力
- 課題対応能力
- キャリアプランニング能力

まずは、これまで発行された文部科学省「キャリア教育の手引(小学校版、中学校版、高等学校版)」や国立教育政策研究所「学校の特色を生かして実践するキャリア教育」等を活用し、日常の教育活動との結び付きから考慮していくことが一つであると考えます。